

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	社会福祉費事務管理事業			会計	款	項目	大専	小事
				01	03	01	01	09
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課				
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	石戸 敏久				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	社会福祉課職員	意図	社会福祉課職員の事務を円滑にし、事務処理経費を削減し、事務の効率化を図る。
事業内容	社会福祉課全般の経費 臨時職員賃金、旅費、事務用消耗品、新聞購読料、通知用封筒印刷、コピー機使用料等、社会福祉課の事務に要する経費の支出。 負担金の支出 更生保護法人千葉県更生保護助成協会市町村負担金の支出			
事業開始から現在までの状況変化	急速な少子高齢化社会の進展により、日本の伝統的な家族の在り方や地域社会の絆のせい弱 化、社会的ひきこもりの増加、児童や高齢者への虐待、年間3万人近い自殺者問題、景気の後 退による失業者の急増等、地域の福祉問題が大きく変わり、福祉行政への期待が高まり事務量 が急増している。事務量の増加に伴い、事務の効率化が急務である。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,761,425	4,668,260	3,694,348			
事業費(b)(円)		846,765	1,778,620	824,268			
うち一般財源		846,765	1,778,620	824,268			
職員給与費(c)(円)		2,914,660	2,889,640	2,870,080			
人役・職員(人)		0.22	0.22	0.22			
人役・再任用(人)		0.36	0.36	0.36			
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	引き続き節電やコピー使用量の削減に取り組み経費削減を図る。	③取組における課題(Check)	再任用職員の適正な事務量の配分。
②H30に実施した取組(Do)	無駄な電気の消灯、紙の使用量削減に取り組んだ。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	事務量を精査し、適正な職員配置に努める。